

議会だより

あしや

No.204

令和元年
12月定例会

令和2年2月15日発行
福岡県芦屋町議会

P 2 議会って何をしているところ？

P 4 町民会館リニューアル

P 5 佐野市へ支援金

P 8 1月臨時会

P 9 議長新年のあいさつ

P 10 町政を問う（一般質問）

P 16 視察レポート

P 18 町かどインタビュー

ところ？

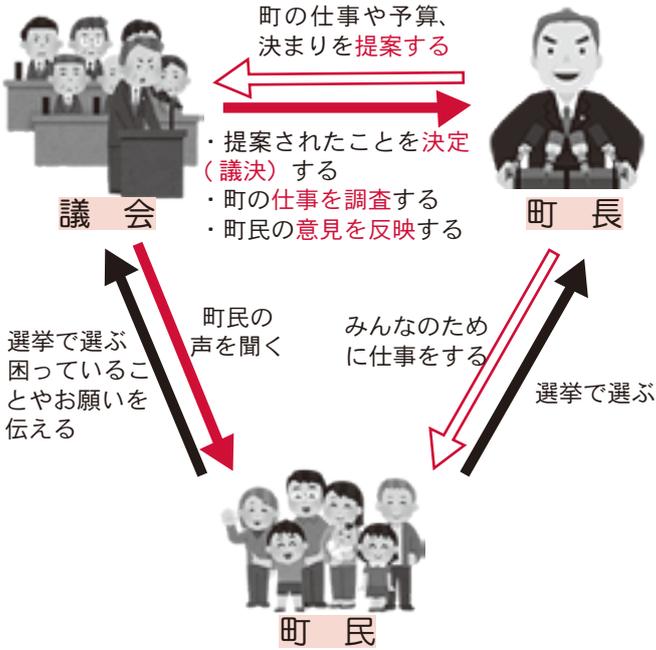
芦屋町議会は開かれた
議会を目指しています



5



議会と町長との関係を教えて？



町議会と町長は、対等の立場でお互いの意見を出し合い、話し合いながら、よりよい芦屋町になるよう仕事を進めていきます。

6



町民から議会にお願いはできるの？

請願や陳情をすることで議会にお願いをすることができます。

請願・・・お願いする際は議会に紹介してくれる議員が必要です。

陳情・・・紹介してくれる議員は不要ですが、お願いを議会に取り上げるかどうか議会運営員会で審査されます。

詳しくは町のホームページをご覧ください。



請願・陳情

7



議会って見ることができるの？

本会議と委員会は町民に限らずどなたでも傍聴することができます。ただし、委員会は開始5分前までに受付をする必要があります。

傍聴以外にもいろんな方法で議会の様子を知ることができます。



パソコン



スマートフォン
タブレット



議会だより

※議会だよりは年4回、2月・5月・8月・11月に各家庭に配布しています。



議会録画中継

本会議は録画中継をしています。過去1年分の録画中継はインターネットで見ることができます。



議会って何をしている

議会とは

12月定例会

1月臨時会

新年挨拶

一般質問

視察レポート



議会ってどういうところか教えて？

暮らしやすく、住みよい町にするために、町民が選挙で自分たちの代表である町議会議員を選びます。議会はその議員が町長達と話し合いをしているところです。

ちなみに・・・
3、6、9、12月に開かれる「定例会」では条例や予算、決算について話し合います。



議会で話し合っている条例や予算ってなんのこと？

- 条例・・・芦屋町の決まり
- 予算・・・これからのお金の使い道
- 決算・・・これまでお金がどう使われたか

この他にも芦屋町にとって大切なことは議会で話し合いをして決定しています。

ちなみに・・・
より、細かく話し合いをするために、議員数名で「委員会」を構成しています。



芦屋町にはいくつの委員会があるの？

芦屋町には現在3つの常任委員会と議会運営委員会があります。

- ★常任委員会
- ・ **総務財政** 常任委員会
- ・ **民生文教** 常任委員会
- ・ **議会広報** 常任委員会



この他にも、必要に応じて特別委員会が設置されることがあります。



それぞれの委員会でどんな話をしているの？

総務財政常任委員会

税や港湾、防災、競艇事業、道路等について



民生文教常任委員会

教育や福祉、子育て、産業観光等について



全議員がこの2つの委員会のいずれかに所属しています。町の仕事を2つに分けて話し合うためにつくられています。

議会広報常任委員会

議会だよりの発行や録画中継等について

議会運営委員会

議会の進め方や議会の決まりなどについて



12月定例会

第4回定例会が令和元年12月9日から18日までの10日間の会期で開催されました。10、11日に行われた一般質問では、5人の議員が登壇しました。条例、補正予算など12議案が上程され、全ての議案が可決されました。

改修工事

町民会館を

リニューアルします



芦屋町町民会館

町民会館改修工事（建築）
請負契約の締結

（満場一致・可決）

◆契約金額…約6145万円

◆契約先…(有)渕野工務店

町民会館改修工事（機械設備）
請負契約の締結

（満場一致・可決）

◆契約金額…約1億93万円

◆契約先…株きたせつ

問 工事中、利用者への対応はどうするのか。

答 年間利用団体には中央公民館などの利用を提案している。ボランティア活動センターは山鹿公民館を利用する。

問 ステージの雨漏りの改修はしないのか。

答 大ホールの天井改修と一緒に調査を行う。

問 最低制限価格は適正か。

答 担当課で国のルール等に基づき積算している。

一般会計補正予算（第3号）

（満場一致・可決）



53年使用された町民会館の緞帳

町民会館大ホールの緞帳購入費を計上しています。

問 なぜ緞帳を購入するのか。

答 町民会館の緞帳は開館以来53年使用しており、劣化が著しく、現状のままの利用は難しいため。

問 より安価な左右開閉式の緞帳購入を検討しては。

答 新たな装置が必要となり、さらに金額が高くなるため、今までと同様の緞帳を購入する。

親善都市の佐野市へ 台風被害支援金500万円

一般会計補正予算（第3号）

（満場一致・可決）

歳入歳出それぞれ**3700万円**の増額補正です。

補正のあった歳出の主な内容	補正額
佐野市台風被害支援金 （佐野市とは平成10年から親善都市の締結をしています）	500万円
山鹿小学校屋内運動場床改修工事実施設計委託	—
小中学校消防設備改修工事	—
児童措置費（保育所等の運営費）	—

※委託料・工事費・備品購入費については、金額の公表を行っていません。

◆佐野市台風被害支援金

問 支援金500万円の根拠は何か。

答 過去、災害関係の見舞金等を出した最高額が東日本大地震の500万円であった。熊本地震は500万円、九州北部豪雨は150万円、西日本豪雨は300万円を義援金として出してきた。佐野市とは親善都市を締結しているため、最高額の500万円を設定した。

◆山鹿小学校屋内運動場床改修工事実施設計委託

問 なぜ補正予算として計上したのか。

答 令和2年度に実施設計、3年度に工事を予定していたが、財源として有利な過疎債の利用期限の関係で今議会で補正することにした。

問 他の学校の改修はないのか。
答 他の学校は平成15年頃に改修済みである。山鹿小学校は平成6年の改修が最後のため、今回改修する。

◆小中学校消防設備改修工事

問 工事の内容は。

答 法定消防点検で、小学校では電気設備や機械設備が、中学校では煙感知器や非常用放送設備、防火扉の自動開閉装置、電工設備、機械設備の消火機材の不具合等があり、至急改修が必要だったため計上した。
また、他の必要な改修は随時行っていく。



改修予定の中学校の消火栓

海浜公園とレジャープール

指定管理者を指定

指定管理者の指定

(満場一致・可決)

海浜公園と海浜公園レジャープールの指定管理者を指定します。

◆指定管理者

一般社団法人 芦屋町観光協会

◆指定期間

令和2年4月1日～令和5年3月31日まで

指定管理者制度とは・・・

公共の施設の管理を民間事業者等に任せることで民間のノウハウを活用し、住民サービスの質の向上を図り、施設の設置の目的を効果的に達成するための制度です。



レジャープールで開催されたファミリーフィッシングの様子



管理しているレジャープール アクアシアン



管理している海浜公園わんぱーク

条例

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定
(賛成多数・可決)

地方公務員法および地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員の給与と費用弁償の必要な事項を定めるほか、関係条例の規定を整備します。

問 条例にフルタイムとパートタイムが創設されているが、社会保障に大きな格差が出る。多くの臨時職員がパートタイムとなり劣悪・不安定な雇用となるため、大幅な修正をすべきではないか。

答 必要に応じてパートタイム、フルタイムを精査する。新しい制度なので十分審議を行う。

問 臨時職員と会計年度任用職員の雇用形態の違いは何か。

答 現在の臨時職員が会計年度任用職員として雇用される。週15時間30分以上、雇用期間が6

カ月以上ある方は期末手当がプラスとなる。通勤手当についても勤務されている日にちで付与する。また、これまでは半年毎の契約で最長4年とし、期間を空けなければ再度の応募はできなかったが、今後は1年毎の契約で最長3年とし、再度の応募ができるようになった。

反対

【非正規職員の雇用安定、待遇改善をもっと図るべき】

川上 誠一議員

会計年度任用職員の雇用期間は1年が限度である。毎年更新されるといつても、いつでも雇いどめできる制度である。正規と非正規職員の待遇格差は依然と残され、一方で義務や処罰などは厳しく適用される。

また、フルタイムとパートタイムに分けられ、新たな待遇格差が生まれる。恒常的業務を担う非正規職員の正規化と雇用の安定、待遇改善をもっと図るべきである。

印鑑条例の一部改正

(満場一致・可決)

関係要領の印鑑登録できない者の要件が変更されたことに伴い、印鑑条例の一部が改正され、成年被後見人も意思能力を有していれば印鑑登録できるようになります。

問

後見人が同行していれば登録できるのか。

答

後見人が同行し、被後見人からの申請があれば印鑑登録できる。

問

意思能力を有する、有しな
いの判断はどうかやって行
うのか。

答

申請者に印鑑登録の意思があるかどうかで判断する。



議会会議規則の一部を改正

(賛成多数・可決)

議会の活性化を図るため、会議規則の一部を改正します。

◆改正内容

今まで反問権は、議員の質問の内容確認のみに限定していたが、今後は内容確認に限定せず、反問できるよう変更する。

反問権とは・・・

質問者（議員）に対して回答者（町長・担当課長等）がその質問の根拠や背景等を質問する権利のことです。



12月定例会意見がわかれた議案の賛否一覧

議案の賛否について掲載しています。掲載のない9議案は、満場一致で可決されました。

○：賛成、×：反対、退：退出、除：除斥を表しています。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	内海	中西	長島	萩原	信国	本田	松岡	妹川	辻本	小田	川上	横尾			
芦屋町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	10	1	可決
会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	10	1	可決
芦屋町議会会議規則の一部を改正する規則の制定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—	9	2	可決

※議長には、賛否の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

1月臨時会

第1回臨時会が令和2年1月20日に1日の会期で開催されました。条例の改正や補正予算など2議案が上程され、全て可決されました。

条例

芦屋町一般職職員の給与に関する条例の改正

(満場一致・可決)

令和元年度の人事院勧告に伴い、本町職員の給料月額、勤労手当の支給率、勤労手当の支給割合および住居手当の対象となる家賃額の改定を行うため、条例の一部を改正します。



役場の職員の様子

問 住居手当を支給されている職員は全体の何パーセントか。また、持ち家の職員は対象となるのか。

答 住居手当の対象者は全体の約3分の1程度である。また、持ち家の職員は対象外である。

補正予算

歳入、歳出それぞれ300万円の増額補正です。歳入では財政調整基金繰入金を増額計上し、歳出では重要文化財指定芦屋釜の購入に向けて、関係機関との事前協議、購入委員会及び評価員の設置・委嘱等に係る経費と給与改定に伴う町職員給料等を増額計上しています。(満場一致・可決)

問 事前協議する関係機関とは。購入委員会と評価員の構成は。

答 関係機関とは文化庁（重要文化財の所管部局）や東京文化財研究所（環境整備等の指導を受けるため）等である。また、購入委員会は購入の適正化を図るため、学識経験者等で構成し、評価員は釜の適正価格をつかむため、首都圏や京都等で活躍の学識経験者や学芸員、鑑定士等を考えている。



賛成

【釜の購入により福祉が後退してはならない】

川上 誠一議員

重要文化財の購入により芦屋釜の復興事業を進めることは、町づくりのツールの一つとして力になるが、重要文化財の購入は多額の財源が必要となる。

町の存在意義は福祉の増進である。重要文化財の購入により、町の福祉が後退することや影響がないように気をつけてほしい。



横尾 武志 議長

令和二年を迎え、町議会を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。町民の皆さまにおかれましては、健康やかな元旦を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から町議会に対し、ご理解、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、五月一日に新帝陛下がご即位され、新しい令和の時代を迎えました。九月にアジア初となるラグビーワールドカップが日本で開催されると大いに盛り上がり、日本中に感動と希望をもたらしました。

そんな中、台風十五号や台風十九号などが関東地方を初め、多くの地域に甚大な被害をもたらしました。大規模な自然災害が毎年のように起こり、日頃からの防災対策や意識啓発の重要性を再認識したところであります。

地方自治体は、本格的な少子高齢化社会の到来による人口減少問題や、公共施設の老朽化対策、自然災害への対応など、直面する数多くの課題があります。

町議会としましても、新体制となり、新しい気持ちで町勢発展と住民福祉の充実のため、議員一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも皆さまの一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

どうか、この一年が、皆さまにとって幸多く、実り豊かな年となりますよう、ご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

芦屋町議会

議長 横尾 武志

議会の活動を報告します

芦屋町功労者表彰



11月1日に令和元年芦屋町功労者表彰式が役場で行われました。議会から川上議員、小田議員、辻本議員、松上元議員、貝掛元議員が表彰されました。

清掃ボランティア

11月30日に職員で行う町内清掃ボランティアに参加しました。清掃ボランティアは年2回行われ、3月にも参加する予定です。



福岡県町村議会議員研修会



1月15日に福岡県町村議会議長会主催の議員研修会に出席しました。政治とメディアの関係などについて学びました。



一般質問 町政を問う



一般質問会議録

12月10日と11日に5人が一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。

ページ	質問議員	質問事項
11	松岡 泉	◎障がい者の日常生活支援 ◎AEDの普及促進 ○民生委員の確保
12	川上 誠一	◎中央病院の再編統合問題 ◎アスベスト対策 ○総務省の自治体戦略2040構想
13	萩原 洋子	◎要配慮者や女性に対する防災対応 ◎認知症になっても安心して暮らせるまちづくり
14	本田 浩	◎災害発生時における支援体制等 ◎英語教育の現状と今後のあり方
15	妹川 征男	◎荒廃し続ける芦屋海岸 ◎芦屋港のレジャー港化

◎：記事掲載あり ○：記事掲載なし

議会だよりは要約しています。詳しくはホームページの会議録や録画中継で御確認ください。



まつ松 おか岡 いずみ泉

障がい者の日常生活支援を拡充すべきでは

福祉課長

サービス向上のため、県を通して、国へ行政要望等を行っていく

障がい者の日常生活支援

問 重度身体障がい者が車いすごと室外に出るための電動昇降機は、介護保険制度同様、レンタル利用できないのか。

答 介護保険制度の電動昇降機等、福祉用具は貸与が原則である。障がい者の日常生活用具は障がい状況に適合させるため、使用者によって形態や品質が変化するものが中心であり、給付が原則となり、レンタルできない。

問 障がい者が給付を受ける場合、経済的負担が大きくなるが、町の対応は。

答 移動用リフトとして電動車いす用昇降機を購入する場合、補助金を差し引いて自己負担額は約35万円かかるが、今回、県とも相談し、「住みよか事業」による住宅改修を活用することで、自己負担額を約20万円に抑えることができた。

問 日常生活支援用具の中には、個人の状態に応じていない生活用具もある。介護保険制度と同等の支援を受けるためには、国による抜本的な見直しが必要である。国への行政改善要望等の考えは。

答 障がい者へのサービスの提供に関わる課題解決のため、町は、県を通して国へ町の実態や要望を上げ、よりよい障がい福祉サービスができるよう働きかけていく。

AEDの設置促進

問 AEDは心肺停止になった際に心臓に電気ショックを与え、正常に戻す医療機器である。全国各地で普及啓発が促進されているが、町の見解は。

答 心停止は死因の上位であり、AEDの利用は有効な手段と考える。町内20カ所の公共施設に設置している。

問 設置場所が知られていること、使用できる状態であること、使える人がいることが必要であるが。

答 設置場所は町のホームページに掲載しており、保守点検はリース会社が行っている。また、役場では使用者を確保している。



役場1階に設置されたAED



松岡議員の一般質問
録画中継



かわ 川 上 誠 一

再編統廃合の対象に中央病院があげられているが、どう思うか

住民課長

説明もなく納得できないが、地域病院として必要な医療を提供する

中央病院の再編統合問題

問 福岡市で病院の再編統合の意見交換会が行われたが、どのような意見が出たのか。

答 出席者から「病院がなくならないか」と患者や職員が不安に思っている「地域の現状を踏まえて論議すべき」「病院名の公表が医師や医療職の採用に支障となっており死活問題だ」等の意見があった。厚労省から医療ニーズにあわせて診療体制を見直すよう来年9月までの結論を求められた。

問 関東甲信越の会場でも、「地方の公立病院は、民間では採算の取れない医療を提供し、住民の暮らしを守っている」「地方に人が住む必要はないと言っているように聞こえる」との声があった。芦屋中央病院は病院名公表をどう思うのか。

答 中央病院は県の地域医療構想に基づき医療供給体制の実現のため、病院の整備を行ってきた。多くの方に心配と不安を与えていると思う。病院は経緯と対策を職員に説明し、患者やその家族への対応を図った。今回の発表は唐突で関係者に十分な説明もなく納得できない。今後も地域医療の役割を果たし、町民に十分な医療を提供していく。

問 町は病院名の公表の撤回と再編統合の押し付けを

制の実現のため、病院の整備を行ってきた。多くの方に心配と不安を与えていると思う。病院は経緯と対策を職員に説明し、患者やその家族への対応を図った。今回の発表は唐突で関係者に十分な説明もなく納得できない。今後も地域医療の役割を果たし、町民に十分な医療を提供していく。



芦屋中央病院

やめるように国に求めるべきでは。

答 県の医師会も非常に激怒されて地域医療確保に関する国との協議の中で抗議することである。中央病院を守ることは町の使命である。地域医療構想調整会議で病院の果たす役割、必要性を理解してもらうことが最優先であると考えるため、国に対しての要望は考えていない。

アスベスト対策

問 1970年代から90年のアスベスト使用全盛時の民間建築物・アパート・個人住宅の解体は、アスベスト調査も行わず解体を行う事例が増えている。どう対応するのか。

答 町の民間建築物の調査等は県が行う。最新検査が可能なアスベストアナライザーを県が所有しており、民間建築物等に使えるため、連携を図る。



川上議員の一般質問録画中継



要配慮者に対する避難所運営訓練を実施する考えは

総務課長

令和2年度中に取り組んでいきたい

はぎ 原 ひろ 子
萩 原 ひろ 子

**要配慮者や女性に対する
防災対応**

問 要配慮者防災対応は。

答 避難行動要支援者名簿の作成と防災組織への情報提供、保健師等の出務、避難者の体調管理、感染症の予防等の避難所対応を行う。必要時、福祉避難所を町民会館に設置し、みどり園等との協定で障がい児・者の対応、介護施設等との協定で空きベッド等の活用もできる。

問 妊産婦等の対応は。

答 保健師の出務、女性物資担当の配置、授乳室等のほか、保健・衛生等に配慮する。

問 女性の防災対応は。

答 避難用テントや段ボール等を使用したプライバシーの確保や防犯上の配慮、更衣室のレイアウト等で女性の視点を取り入れる。

問 要配慮者に避難所運営訓練を実施する考えは。

答 県の補助事業を活用し、来年度中に取り組みたい。

問 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

問 認知症者と徘徊の数、徘徊者発生時の対応は。

答 認知症は推計623人程度、徘徊は平成30年度が5件。介護事業所や社協と連携しての搜索、関係機関への情報



介護事業所の徘徊模擬訓練の様子

提供をはじめ、SOSシステムへの登録・配信を地域包括支援センターが認知症者の家族に要請している。

問 徘徊対策となるサポーターやSOSシステム登録者を増やす工夫は。

答 サポーター養成はサロン事業や区の体操教室で実施し、今後は小学生等にも働きかける。家族等に認知症の説明を行い、介護予防事業の際にSOS受信登録を要請している。

問 地域見守りネットワークが展開していないが。

答 徘徊高齢者対策を総合的に検討する中で、ネットワークづくりを考える。

問 徘徊模擬訓練は。

答 取り組んでいきたい。



萩原議員の一般質問
録画中継



ほん だ ひろし
本 田 浩

災害発生時における支援体制等

問

近年の大規模災害では、被害を最小限にするため「自分の命は自分で守る」ことが重要である。大規模災害に対して災害対策本部が設置されるが、どのような組織なのか。

答

地域防災計画では発生状況に応じて3段階に分けて組織体制および職員配置体制を整備している。

問

自主防災組織等を通じた徹底も不十分だと思いが、自治区による自主避難訓練への支援はどうなっているのか。

答

自治区からの要望があった際に随時対応しており、出前講座として避難訓練を実施している。職員のマンパワー不足もあり、自治区での避難訓練は難しい現状だが、町主体の避難訓練や全自治区対象の避難訓練を考えている。

問

防災士制度が広く認知され、18万人以上が防災士となっている。職員を含め、芦屋町には何名の防災士がいるのか。また、今後防災士を育成していく予定はあるのか。

答

職員に取得者はいないが、町全体で10人の取得者がある。現在、防災士の注目度が高まっており、今後県内の状況を見て、資格取得の助成を検討する。職員については資格取得を考えている。



芦屋町地震・津波避難訓練の様子

英語教育の現状と今後のあり方

問

令和2年度予定の小学校英語教育に伴い、平成30年度と令和元年度は移行期間とされているが、スムーズに進行しているのか。

答

町の外国語活動・英語教育担当者会で実施内容を検討しており、スムーズな移行が出来ている。

問

特色ある学童クラブにするため、外国人と遊びの中で英語を学べる場にしてはどうか。即効性のある話せる英語力が身につくと思うがどうか。

答

芦屋町学童クラブ設置条例にある目的以外のため予算措置は難しく、ほかの児童との不公平感も出てくる。



本田議員の一般質問
録画中継

自分の命は自分で守ることが重要だが、災害対策本部の構成は

総務課長

災害の発生状況に応じて3段階に分けて組織体制等を整備している



妹川 征 男

芦屋海岸は見るも哀れな状況である。そのままではよいのか

企画政策課長

修繕及び撤去など適正な維持管理について福岡県に要望している

荒廃し続ける芦屋海岸

芦屋港建設で砂の堆積が発生し、海岸線は砂浜化し拡大している。飛砂は強風にあおられ、背後地の住民に深刻な被害をもたらしている。飛砂対策で植樹された松は飛砂に覆われ生き埋め状態の所がある。強風によって朽ちた防砂垣や静砂垣は見るも哀れな状況。子や孫の将来に禍根を残してはならない。そのままではよいのか。

問 今後引き続き修繕や撤去など適正な維持管理について福岡県に要望していく。

答 6月議会で、町長は「松の植樹や生育状況、砂や港湾内の実態について所管の県議会議員に視察してもらうよう話したい」と答弁したが、その後は。

答 里浜づくり事業は松本県議の肝入りであり、「飛砂・漂砂・海岸浸食の問題は県の責



荒廃化する芦屋海岸の浜辺

任でやらなければいけない」と県庁職員や北九州県土整備事務所の責任者に指示をしていた。

芦屋港のレジャー港化

問 芦屋港が物流基地の目的を果たさず、環境破壊という負の状態になった原因を検証し、解決策を示し、説明責任を果たすよう県に要請するべきでは。原因究明もせず、県と町がレジャー港化を推進するのは危険である。芦屋港活性化推進

答 レジャー港化については、委員会の審議でも飛砂や堆砂を危惧する意見が多数出た。これに対して県から抜本的な対策を講じる発言があった。

委員会では「観光レジャー港化と砂の船やダンブカーは違和感があり、砂の搬入・搬出の車両と一般車両や歩行者の交差が考えられる。安心・安全が一番大事」と指摘しているのでは。

問 県は昨年4月「プレジャーボート施設ができてからも砂が堆積し続けるのは問題である。砂が来る原因を調べたい」と回答していた。あれから1年半以上もなるが、県は原因の調査を行ったのか。町はその点について指摘したのか。

答 確認は何度もしているが、調査したという報告はまだ受けていない。



妹川議員の一般質問録画中継

行政視察レポート

行政視察①

- ◆日程：10月15日～17日
- ◆視察先：島根県海士町役場、岡山県早島町役場
- ◆視察者：川上誠一・妹川征男



早島町視察の様子

◆海士町◆

地域資源を活かし第一次産業の再生で町づくり

海士町は日本海に浮かぶ隠岐諸島にある町で過疎化が進みかつて7000人いた人口も平成27年には2353人まで減少した。町では島の生き残りをかけ「自立促進プラン」を作成し、行政財改革と同時に農・漁業を柱とした産業振興や移住促進、子育て支援の施策を行い「未来への投資」を行った結果、今では財政は黒字決算を続け、地方債残高も減り健全化することができた。また、教育に力を入れることで、若者の人口が増えている。

◆早島町◆

議会基本条例の制定

早島町議会は平成23年に議会基本条例特別委員会を設置し、全議員による先進地視察で4自治体に行き研究した。24年に住民のパブリックコメントを行った後、制定した。

条例に基づき、議会報告会や議員と語ろう会を各自治体で行ったほか、30年には議会活性化特別委員会を設置し議会サポーター制度やモニター制度の実施、議会に対する町民アンケートを行った。

説明を受け、芦屋町でも早急に議会報告会が実現できる町にしなければいけないと感じた。

行政視察②

- ◆日程：12月24日～26日
- ◆視察先：広島県庁、ポートレース宮島、ポートパーク福山、兵庫県尼崎市役所ほか
- ◆視察者：辻本一夫・内海猛年

◆ポートパーク福山◆

不法係留ボート対策に特化して整備された施設

港内に河川の不法係留ボート対策として整備されているが、収益目的ではないため、大型船の係留はできず、9メートル以下の小型船舶係留施設である。操縦者等の雇用や維持管理上、斜路など船揚場は整備されていないが、利用者の利便性を考慮し、駐車場近くに誰でも荷物の上げ下ろし等に利用できる6隻分の一時係留棧橋が整備されている。護岸上での投げ釣りは禁止されており、計画中的芦屋港レジャー港化への参



ポートパーク福山の係留施設

考になった。

◆尼崎市◆

官民連携の防犯カメラが犯罪抑止に効果アップ

市内は平坦な地形のため、日常の移動手段として自転車の利用者が多い。ひたくりや自転車の盗難など街頭犯罪防止対策として、①可動式防犯カメラの設置②県が実施する防犯カメラ設置補助事業③民間事業者が設置した外向き防犯カメラの活用④自転車への振動警報機（防犯アラーム）の取付け等の取り組みにより、犯罪件数が減少している。このような取り組みは、町民への啓発とあわせて犯罪のない町への参考になった。

民生文教常任委員会

委員会視察とは・・・

3つの常任委員会（総務財政・民生文教・議会広報）が、先進地を視察し、町の発展について学習して行くことです。

行政視察とは・・・

議員2名以上で、所属する委員会とは関係なく先進地を視察することです。2年に1度行い、町の発展のために学習しています。



民生文教常任委員会視察

◆日程：11月5日～7日

◆視察先：長野県高森町役場、愛知県名古屋市わいわい子ども食堂、愛知県大府市役所

◆視察者：松岡泉・萩原洋子・川上誠一・小田武人・内海猛年・中西智昭

◆高森町◆

特定健診受診率向上の取り組み

高森町は健診受診率60.8%と全国でも上位で住民の健康意識が高く、年4回の集団検診で89%の住民が検診を受けている。町は国保のデータベースで受診状況を確認し、①未受診者へ個別訪問で検診の呼びかけ②自治区による各種検診申込票の配布と回収③全世帯へ個別検診状況の確認等、地道に取り組んでいた。芦屋町の健診受診率向上の手法として参考になった。

◆子ども食堂◆

食がつなぐ「居場所づくり」

わいわい子ども食堂は「誰でも食堂」として運営し、月1回の開催で150名ほどの利用者がいる。子ども連れのお母さんや高齢者、部活帰りの中学生も訪れ、レクリエーションや学習支援等も実施している。施設利用料、食材調達等の課題も多いが、食がつなぐ「居場所づくり」に取り組んでいた。

◆大府市◆

ICT機器を活用した学びを適応指導教室へ

大府市は平成27年度、市内9小学校4中学校の全クラスに電子黒板、タブレット端末等を導入、児童の教科学習に対する関心、意欲などの成果を上げた半面、中学生の不登校が課題となり、登校できない生徒の学校復帰への自信と意欲を高めるための適応指導教室を整備した。ICT等を活用した学習機会の充実で個々の児童生徒の状況に応じた支援を行っていた。芦屋町のICT活用に参考になった。



高森町視察の様子



大府市視察の様子

町かど インタビュー



今年もさわらサミットの時期が来ました。さわらサミット実行委員会会長の山村朋代さんと鯖漁を行っている中西政次さんにインタビューしました。(サミットは2月23日)

実行委員会長の山村朋代さん



実行委員会会長の山村さんと波多野町長

Q さわらサミットの目的を教えてください。

A 芦屋町の特産品として鯖の知名度を高めることが目的です。

Q 今回のサミットの目玉はなんでしょうか。

A グランプリ出店者の工夫を尽くした鯖料理はもちろんですが、フードファイターMAX鈴木さんとの大食い対決やフラワーアレンジメント教室等の催しも行います。

Q 多くの方に来てほしいですね。

A 楽しいイベントが盛りたくさんあります。皆さんのお越しを会場でお待ちしています。

漁師の中西政次さん

Q さわらサミットでの鯖は声屋で穫れたものですか。

A はい。漁で穫れたものを提供しています。

Q 鯖以外に町の特産品になりそうなものはありますか。

A 今の時期だと鯖のほかにも揚がりますよ。

Q おいしい鯖をよろしくお願いします。

A わかりました。任せてください。



鯖漁を行っている中西政次さん

議会を傍聴してみませんか？

次回の定例会は**3月5日**開会予定

本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。また、本会議は役場1階ロビーでライブ中継をしています。
※日程は変更になる場合があり、最終決定は2月下旬に開かれる議会運営委員会で行われます。傍聴を希望する方は議会事務局にお問い合わせください。(TEL 223-3579)

- 【発行責任者】 議長 横尾 武志
- 【議会広報常任委員会】
- 委員長 川上 誠一
 - 副委員長 長島 毅
 - 委員 本田 浩
 - 委員 信国 浩
 - 委員 萩原 洋子
 - 委員 中西 智昭

議員としての責任と誇りの大きさを胸に、共に手を携えながら邁進する事こそ、肝要であること心新たに致しました。

信国 浩

議会録画中継配信中

詳しくは、芦屋町ホームページをご覧ください。なお、配信は本会議終了から7日後(休日のぞく)になります。



録画中継ページ



令和元年は、議員活動の何たるかも分からぬまま、闇雲に月日ばかりが過ぎ去る年であった様に思えます。

しかしながらも、暗中模索の日々が続く中で、改めて、心の声に耳を傾ける事の大切さを痛感する年でもありました。

新年を迎え、日常に於いても、物事に対して一つ一つ丁寧に取り組み、見聞を深め、与えられた機会を大切に活かし、何をなすべきか常に自問自答し続けます。